

謝辞

本論文は、筆者が京都大学大学院工学研究科の博士課程（衛生工学専攻）並びに、1997年4月より奉職させていただいている京都府立大学人間環境学部環境デザイン学科住環境学専攻において行った研究成果をまとめたものです。

この間、寺島教授には、わがままな筆者の研究テーマの選択にもかかわらず暖かく見守っていただき、論文のとりまとめに至るまで、ご指導ご鞭撻を賜りました。心より厚く御礼申し上げます。

また、研究成果のとりまとめにあたって多くのご教示を賜りました、京都大学環境保全センター・高月紘教授、京都大学大学院工学研究科・武田信生教授に深甚の謝意を表します。特に高月教授には、さまざまな貴重なデータをご提供頂き、またご指導ご鞭撻を賜りました。心より御礼申し上げます。

京都大学工学研究科に在籍中には、本研究の遂行にあたって産業衛生工学講座の先生方に、数々のご指導、ご助力を賜りました。京都大学大学院工学研究科・尾崎博明助教授、長尾正悟技官、越川博明助手、内海秀樹助手に厚く御礼申し上げます。また当時、産業衛生工学講座の助手で、現在、滋賀県立大学環境科学部に在職されておられる金谷健講師、現在、京都大学大学院工学研究科附属環境質制御研究センターに在職されておられる清水芳久助教授にも大変お世話になりました。特に金谷講師には、筆者が他学部から産業衛生工学講座に進学して以来、公私にわたり暖かいご助言を賜り、本論文のとりまとめに際しても原稿をチェックしていただきました。心より感謝申し上げます。

また本研究は、多くの方々のご協力なくしてはできませんでした。2、3、8章では、全国の有料化実施自治体の担当者の方々に、有料化の制度特性を初め、多くのデータをご提供頂きました。4、5、6章では、滋賀県守山市の住民の方々にヒアリング、アンケート、そして自家焼却ごみサンプルの提供とさまざまなご協力をいただきました。また、当時の守山市環境課の方々、特に伊東康之氏には大変お世話になりました。ごみの分析に際しては、地域計画建築研究所の小泉春洋氏、福岡雅子氏に大変お世話になりました。両氏からは、日頃からごみに関する様々な情報についてご教示頂き、学ばせて頂くことが多々ありました。またサンプルの破碎に際しては、大阪市立環境科学研究所の伊藤尚夫氏、渡辺信久氏にお世話になりました。また5章で用いた社会心理学的アプローチは、名古屋大学文学部・広瀬幸雄教授のもとで学ばせて頂いたもので、本章のとりまとめに際しても原稿をチェックしていただきました。7章では、兵庫県村岡町の町役場の方々、多くの住民の方々に、ヒアリング調査、アンケート調査にご協力頂きました。ここに記して、感謝の意を表します。

なお、本論文で取りまとめた研究は、当時京都大学大学院修士課程に在学していた神下高弘氏（4、5、6章、1996年卒）当時京都府立大学生活科学部住居学科に在学していた中西金也氏（7章、1999年卒）との共同研究によるものであり、また2章は当時京都大学工学部に在学していた大野木昇司氏（1995年卒）との共同研究から始まっています。ここに記して感謝したいと思います。また、2、3、8章は京都大学大学院経済学研究科・植田和弘教授のご指導のもと、大阪府廃棄物減量化・リサイクル推進会議からの受託研究として行った研究に基づいています。大阪府廃棄物減量化・リサイクル推進会議におかれましては、公表をご快諾頂き、厚くお礼申し上げます。また植田教授には、筆者が京都大学大学院在学中以来、環境経済学のご指導をいただき、様々な勉強・研究の場を与えて頂きました。心より感謝いたします。

環境問題の現場を志し、理学部から工学研究科衛生工学専攻に進学したものの、どのようにアプローチしたらよいかかわからずに右往左往する筆者に、議論の場と方向性を与えてくれたのは、リサイクル研究会でした。特に現在ケンブリッジ大学大学院在学中の渡辺浩平氏との議論からは、多くの示唆を頂きました。渡辺氏には本原稿のチェックもしていただきました。またリサイクル研究会の運営を引き継いで頂いた橋本征二氏を始め、伊東真吾氏、鈴木靖文氏他多くのメンバーとの議論に、また時には調査への協力に支えられて、現在まで研究を続けることができました。歴代のメンバーに心から感謝したいと思います。その他、活動に関わらせて頂いたNGOの方々からの刺激や、廃棄物学会で知り合うことのできた方々との議論なくしては、研究を進めることはできませんでした。各関係者の皆様に感謝の意を記したいと思います。

最後に、本研究の遂行にあたってご協力を賜りました京都府立大学人間環境学部環境デザイン学科の諸先生方、並びに、遅々として進まず落ち込みがちな筆者を支えてくれた先輩、後輩、友人の皆様、両親、妹、そして妻・朱美に、心より感謝したいと思います。本当にありがとうございました。